

クリスマスコンサート

～みんなの心によろこびを！～
ご家族・お友達と一緒にご来場ください！

おうみ少年少女合唱団は、「子どもたちが歌う力を養う中から、自らを表現し社会で行動する能力を高める」ことを目標に、「滋賀の地から全国に向けて新しい子ども文化を発信する」ことを目指して連合滋賀が1990年に設立しました。

発足以来在籍した団員の数も200名を超え、合唱団を巣立った子どもたちの中には専門家への志を抱いて努力を重ね、音楽の指導者として活躍をしている者や演奏家としての活動を広げている者もいます。

滋賀県や大津市主催の合唱祭への出演や、夏休みには特別擁護老人ホームへの訪問演奏、今年は大津パルコのクリスマスマツリーアイルミネーション点灯式でのクリスマスマソング演奏も行いました。団員たちは、様々な行事参加やこの演奏会に向けて、毎週土曜日に練習をしています。

この定期演奏会は子どもたちの練習の集大成です。

ぜひ、ご家族・お友達お誘いあわせのうえ、ご来場ください。
お問い合わせ、お申し込みは連合滋賀まで。

「連合愛のカンパ」地域助成団体に目録を授与

連合滋賀第14回定期大会において、「しがNPOセンター」代表理事の阿部圭宏さん、「彦根市精神障害者家族会集まろう会」代表の川並正幸さんに目録を授与しました。

副事務局長(地協事務局長)退任に当たって

柴田 武治 さん



4年9か月の任期を終え、連合滋賀副事務局長(第4区地協事務局長)を退任いたしました。任期中は東日本大震災、政権交代など大きな出来事がありました。

無事役目を終えられたのも皆様のご協力のたまものと深く感謝しております。小選挙区制度が続く限り、私たち働く者の声を反映する政権政党が必ず誕生すると確信しております。後任の渡邊さんをよろしくお願いします。

副事務局長就任に当たって

渡邊 伸一郎 さん



一般の連合滋賀第14回定期大会に於きまして副事務局長を拝命し、連合滋賀第4区地域協議会の事務局長に就任いたしました。所属構成組織はJAM京滋で出身単組はメタルアート労働組合です。

柴田事務局長の後継者として、地域に根ざした活動、特に地協内の中小・地協組合の支援に取り組みたいと思います。皆様方のご指導よろしくお願い致します。

連合総成
25周年記念

『仕事って、なんだろう?』25歳世代の仕事人生の一助に! ワーキングピュア白書



●純粛に仕事に向き合う若者「ワーキングピュア」
PART1: 実録ワーキングピュア 働く僕たち・私たちの honest

●ワーキングピュアに贈る 仕事応援メッセージ

PART2: 先輩たちが伝える
PART3: 第一線で活躍するプロからワーキングピュアに贈る言葉
〔諭教〕周防正行氏×吉田敦也氏×割田奈あすか氏
仕事の壁の乗り越え方

本体価格1,500円(税別) 2015年10月刊／四六判・並製／216頁 編著者：プロジェクト25実行委員会 発行：日経BPコンサルティング

お詫び：2015年10月26日発行の連合滋賀第262号の「2015標語・川柳入賞作品」において、優秀作品の入賞者のお名前が間違っております。下記のとおり訂正し、お詫びを申し上げます。

三菱重工労働組合工作機械支部 清水 久輝 さん



2015年12月23日(水・祝)
13:00 開場 13:30 開演
大津市民会館大ホール



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2015年12月3日
連合滋賀 第263号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・上田 薫
(定価 1部6円)
印刷 ユニメディア株式会社



11月6日(金)午後1時より琵琶湖ホテルにおいて、連合滋賀第14回定期大会を構成組織代表の代議員および特別代議員、連合滋賀役員、傍聴者等約200名の参加のもとで開催しました。

大会は、白崎副会長により開会し、議長に谷澤正洋(電機連合)、八木弘明(私鉄県協)の両氏を選出しました。

連合滋賀執行部を代表して山田清会長から、「通常国会における労働者派遣法の改悪、安全保障関連法案の強行採決など、暴走する安倍政権を止めなければならない。そのためにも、来夏の参議院選挙では、林久美子予定候補者の再選を勝ち取らなければならない。また、2016春季生活闘争においても、すべての労働者の待遇改善、賃上げに取り組み、地域における社会的影響力を示そう。」と挨拶を行いました。

その後、来賓を代表し連合本部から寺田弘総務財政局長、滋賀県行政から三日月大造知事、民主党から林久美子参議院議員、川端達夫・田島一成衆議院議員より祝辞をいただきました。報告では、2015年度の活動報告と決算報告および会計監査報告を行い、各報告事項を全会一致で承認しました。

議案では、2016年度の活動方針案、剩余金処分案、予算案、役員選出、功労者表彰、アドバイザーの委嘱等の提案を行いました。

運動方針に関する質疑では、JR総連の立石代議員

大會宣言

わたしたちは、第189通常国会における政府・与党の暴挙を決して許さない。

一つは、労働者派遣法の改悪である。今回の見直しは、「均等待遇原則」と「派遣は臨時的一時的業務に限る」という世界の常識から大きく逸脱しており、「生涯派遣で低賃金」を助長するものである。

もう一つは、国会内の数の力で安全保障関連法を強引に成立させたことである。多くの国民が「説明不足」「議論が尽されていない」と反対や疑問の声をあげ、法曹界からは憲法違反という指摘があつたにもかかわらず、国民の理解と合意形成を得る努力を怠り、採決を強行した。これは民主主義に対する暴挙であり、断じて許されるものではない。

加えて政府は、いわゆる「アベノミクス」の成果を喧伝しているが、貧困率は上昇し、格差社会が進行している。年収200万円以下で働くワーキング・プアが110万人を超える労働者を使い捨てにする、いわゆるブラック企業も根絶しない。経済の好循環には「底上げ・底支え」格差是正こそが必要である。しかし、政府は「日本を世界で一番企業が活躍やすい国にする」ために、労働者保護ルールを破壊しようとしている。労働者が犠牲にする成長戦略を認めるわけにはいかない。

連合滋賀は、いまこそ働く者・生活者の一人ひとりの怒りを結集し、社会を変革する大きな力にかかれていかなければならぬ。そして、集団的労使関係を社会の闇にまで張りめぐらし、互いに支え合い、助け合いとともに運動する仲間の輪を広げていく。同時に、東日本大震災を風化させることなく復興・再生に引き続き全力で支えていく。

私たちががむすのは、すべての人が自分の居場所と出番を見出しきけがえのない人生をたくましく生きることができる社会。すなわち、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、セーフティネットが組み込まれた「働くことを軸とする安心社会」である。

社会の不条理に立ち向かい、すべての働く・生活者の希望と安心を取り戻すために連帯して立ち上がろう。

来年の第24回参議院議員選挙は、そのための重要な闘いである。巨大与党の暴走を止め、働く者・生活者の声を政治に反映させるため、組織内比例代表候補12名はもとより、滋賀選挙区における「林久美子」予定候補者の当選に向け、連合滋賀80組合員の総力を挙げて闘う。

「ストップ・ザ・格差社会! すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切り拓こう!」



から、2015春季生活闘争の取り組み評価、安全保障関連法案・基地問題等に対する連合の取り組み、また自治労の仁尾代議員からは、平和・民主主義に関わる問題について連合の取り組みや若者との連携等、日教組の南出代議員からは、非正規労働者が増えている中で、子どもの貧困問題や奨学金の貸与に係る対応等、連合滋賀としての意見反映などの質問・要望が出されました。

上田副事務局長、松元事務局長の答弁後、活動方針が参加者全員の賛成により可決され、また、剩余金処分案、予算案、2016~2017年度の役員の改選、アドバイザーの委嘱、顧問の委嘱についても提案どおり可決承認されました。

主要課題9項目について三日月知事と意見交換 2016年度「政策・制度要求と提言」で総括協議を実施

滋賀県に対する2016「政策・制度要求と提言」の取り組みについて、9月1日に要請書を提出後、3日間にわたり県の9部局との部局協議を行いました。そしてこの部局協議を受けて、11月5日に滋賀県公館において、主要課題を中心に三日月知事や各部長等との「総括協議」を実施しました。

総括協議の開会にあたり、連合滋賀山田会長から、「構成組織、組合員から県行政の課題について多くの意見、要望を取りまとめ、連合滋賀政策委員会や討論集会を開催しながら、11課題103項目にわたる「2016年度政策・制度要求と提言」をとりまとめ提出しました。さらに、10月14日、15日、16日の3日間にわたり各部局での重点項目を設定し、重要な課題について掘り下げる議論ができたことは大変有意義であり、今後も継続していきたい。

本日の総括協議では、知事を交え、重点課題を中心にして議論を深め、県と連合滋賀が連携して、産業・雇用・福祉、教育などの制度改革を推進し、県民が将来にわたり希望と安心が持てる『働くことを軸とする安心社会』をめざす



した取り組みを進めたい。」と挨拶しました。

三日月知事からは、「滋賀県基本構想に掲げる7つの未来戦略プロジェクトの推進、人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略について市町と連携を図り取り組んでいく。また、育児休業の取得の促進など女性の活躍を推進するための「イクボス宣言」を自ら行った。企業の経営者や労働組合においても推進していただきたい。」と挨拶がありました。

その後、各部長等から主要課題9項目についての回答があり、それぞれの課題に対して意見交換を行いました。

連合滋賀は、「政策・制度要求と提言」が具体的に県の施策にどのように反映されているのかという検証も含め、通年の取り組みを進めていきます。



総括協議で取り上げた項目

【知事直轄組織】

1. 県民生活をまもる施策について
大規模災害等への対応

【総合政策部】

2. 県民主役の推進のために
県政の総合的な施策の推進

【総務部】

3. 地方税財政の確立
納稅環境整備の法改正の動きを踏まえた税務行政の体制整備

【琵琶湖環境部】

4. 環境政策の推進について
地球温暖化防止対策

【健康医療福祉部】

5. 医療・福祉政策の推進について
医療・福祉職場における労働環境の改善と人財の確保

【農政水産部】

6. 農林水産業政策について
農業経営の安定と活性化

【土木交通部】

7. 交通政策について
バス路線・鉄軌道等地域交通の維持

【教育委員会事務局】

8. 教育・文化・体育政策について
労働教育の推進

【商工観光労働部】

9. 女性の活躍推進・ワーク・ライフ・バランスの促進、男女平等参画社会づくり
女性の活躍推進について

※2016「政策・制度要求と提言」の要請項目の回答要旨については、別途、各構成組織に配布します。

中小労組連絡会議第22回総会・研修会を開催

連合滋賀中小労組連絡会議は、11月14日(土)守山市ライズヴィル都賀山において、第22回総会と2016春季生活闘争に向けた研修会を55名の参加のもとで開催しました。



総会では、平山克之さん(UAゼンセン)を総会議長に選出し、中小労組連絡会議の加藤議長の主催者あいさつ、連合滋賀白崎副会長の来賓あいさつの後、議事に入り、山元副議長から「2015年度の活動報告」を行い、承認した後、塚本事務局長から「2016年度の活動計画(案)」を提案し、全員の賛成で確認しました。

また、新議長に山元賢一氏(UAゼンセン)を選出し2016～2017年度の新役員体制を確立しました。

また、総会に引き続き研修会を開催し、連合本部よ

り総合労働局労働条件・中小労働対策局長曾原倫太郎局長を講師に迎え、「2016春季生活闘争に向けた中小労働運動の取り組み」をテーマに講演いただき、この間低下してきた賃金・労働条件の復元を目指すこと、大手と中小との賃金格差を拡大させないため賃金カードを維持することの大切さ、すべての労働者を視野に入れた運動の推進など、今春季生活闘争に臨む連合の基本的な考え方と中小労組の取り組みの方向について研修をしました。



「ミニ運動会」チーム対抗戦で白熱! 連合滋賀青年委員会 第20回スポーツ交流会

連合滋賀青年委員会は恒例となったスポーツ交流会を10月24日、野洲市総合体育館で開催しました。今年は、第20回という記念すべき大会ということもあり、初の試みで「ミニ運動会」を開催。構成組織へと参加者を募集し、スタッフ合わせ100名以上が参加する大会となりました。

玉入れ、借りモノ競争、綱引きといった運動会でおなじみの競技6種目を実施し、チームで力を合わせ、競い合い、白熱した運動会となりました。

今年は「交流」ということを重視し、参加者をアトランダムに構成した混合チームの対抗戦形式をとりました。初対面だった同じチームの人たちとも競技を通じて喜びや悔しさなどを共有し、組合の組織を超えた交流を図ることができました。



今後も、皆さんのが楽ししながら仲間同士のネットワークづくりをしていただけるような取り組みを行い、組合活動の活性化につなげてまいりたいと思います。



優勝:青チーム

- 関西電力労組電力所支部
- ダイハツ労組
- パナソニックアプライアンス労組
- 綾羽労組
- ワボウ電子労組
- 日本精工労組石部支部
- 滋賀県教職員組合